

弱溶剤形二液屋根用遮熱フッ素系上塗材

シャネツテックF-JY

対応素材

セメント瓦・カラーベスト・波形スレート(屋根)・モニエル瓦・金属屋根(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)・各種旧塗膜 ※フッ素鋼板は除く

試験結果

【シャネツテックF-JY】
 ■JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 【容器の中の状態】『表面乾燥性』『塗膜の外観』『隠へい率』『鏡面光沢度』『耐衝撃性』『付着性(クロスカット法)』『重ね塗り適合性』『耐アルカリ性』『耐酸性』『耐湿潤冷熱繰返し性』 全て合格
 【シャネツテックSi-JY】
 ■『容器の中の状態』『塗膜の外観』『表面乾燥性』『上塗適合性』『ポットライフ』『隠へい性』『鏡面光沢度』『耐屈曲性』『耐衝撃性』『付着性(クロスカット法)』『耐アルカリ性』『耐酸性』『耐湿性』『耐冷熱繰返し性』 全て社内試験規格合格(参考試験方法:JIS K 5600 塗料一般試験方法)

セメント瓦・カラーベストの標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー-JY A液	12.5kg	5	—	0.08~0.15kg/m ² ※吸込みの多い下地の場合: 0.15~0.34kg/m ²	1~2	3時間以上	3時間以上	—	ローラー/ エアレス
	エポパワーシーラー-JY B液	2.5kg	1				7日以内	7日以内		
上塗 (F-JY)	シャネツテックF-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックF-JY B液	2kg	1				72時間以内	72時間以内		
上塗 (Si-JY)	シャネツテックSi-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.24~0.30kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックSi-JY B液	2kg	1				7日以内	7日以内		

波形スレート(屋根)の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30kg/m ²	1~2	3時間以上	3時間以上	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1				7日以内	7日以内		
上塗 (F-JY)	シャネツテックF-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックF-JY B液	2kg	1				72時間以内	72時間以内		
上塗 (Si-JY)	シャネツテックSi-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.24~0.30kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックSi-JY B液	2kg	1				7日以内	7日以内		

モニエル瓦の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	モニエルパワープライマー A液	6kg	2	5ℓ(清水)	0.15~0.30kg/m ²	1~2	8時間以上	16時間以上	—	ローラー/ エアレス
	モニエルパワープライマー B液	3kg	1				7日以内	7日以内		
上塗 (F-JY)	シャネツテックF-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックF-JY B液	2kg	1				72時間以内	72時間以内		
上塗 (Si-JY)	シャネツテックSi-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.24~0.30kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックSi-JY B液	2kg	1				7日以内	7日以内		

金属屋根(カラー鋼板^{※1}・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)の標準施工仕様

※1:フッ素鋼板は除く

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法		
							工程内	工程間	最終養生			
下塗	① エポパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシンナー-DX)	0.14~0.17kg/m ²	1	—	4時間以上	—	ローラー/ エアレス		
	① エポパワーメタルJY B液	1.6kg	1								7日以内	7日以内
	② サーモテックメタルプライマー ^{※2}	16kg	—								0.8~1.6ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15kg/m ²
上塗 (F-JY)	シャネツテックF-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス		
	シャネツテックF-JY B液	2kg	1				72時間以内	72時間以内				
上塗 (Si-JY)	シャネツテックSi-JY A液	14kg	7	ローラーの場合:0~1.3ℓ エアレスの場合:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.24~0.30kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス		
	シャネツテックSi-JY B液	2kg	1				7日以内	7日以内				

※2:施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

施工上の注意

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 溶剤系塗料では火災・中毒等のおそれがあるため、保管・取扱いには十分に注意してください。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行う場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

- 製品については下記までお問合せください。



製造・販売元 株式会社 アステックペイント

本社 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1 9F

astecpaints.jp

ver.202401

弱溶剤形二液屋根用遮熱シリコン系上塗材

シャネツテックSi-JY

シャネツテックシリーズは遮熱性に優れ、従来のフッ素・シリコン塗料を凌ぐ耐候性を有する屋根用塗料。省エネ性能に加え、美観性もあわせ持つバランスのとれた塗料です。



弱溶剤形二液屋根用遮熱フッ素系上塗材

シャネツテックF-JY

弱溶剤形二液屋根用遮熱シリコン系上塗材

シャネツテックSi-JY



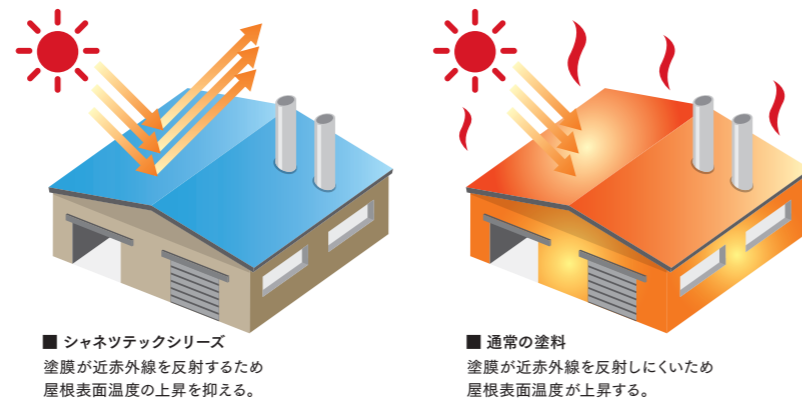
2つの遮熱性能で建物を守る省エネ塗料



遮熱性

太陽光を効果的に反射することで 屋根の温度上昇を抑え、快適な室内環境へ

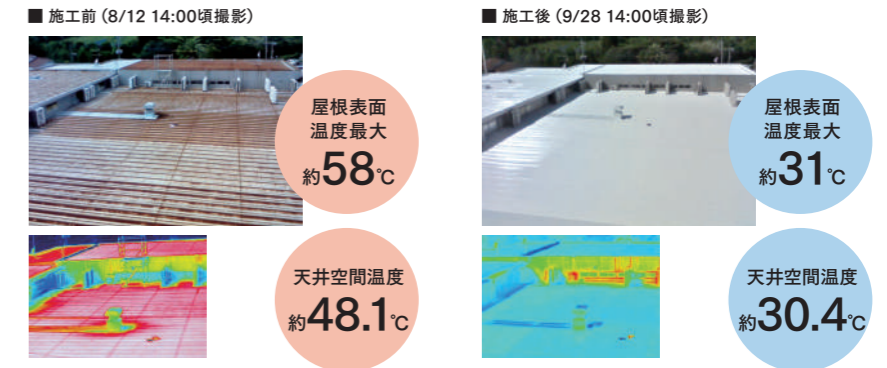
太陽光の波長のうち温度上昇の原因となるのは近赤外線（波長：780～1500nm）。シャネツテックシリーズは近赤外線を効果的に反射し、屋根の温度上昇を抑えることで、室内環境を快適化します。



遮熱効果

施工前後で27℃の温度差が発生。 ※本試験ではシャネツテックSi-JYを使用

シャネツテックシリーズ施工前後に工場の屋根表面と天井空間の屋根裏面より約30cmの箇所での温度測定を行いました。その結果、屋根表面では27℃、天井空間では17.7℃の温度差が生じました。

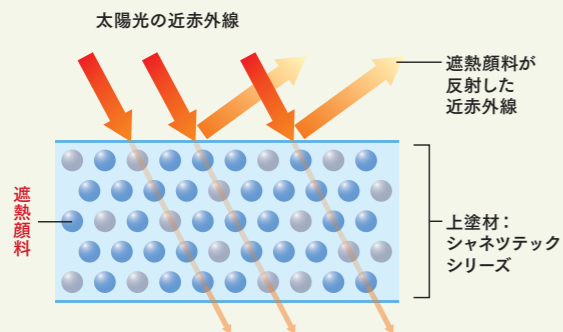


2つの遮熱性能

屋根の温度上昇を抑える2つの遮熱性能。

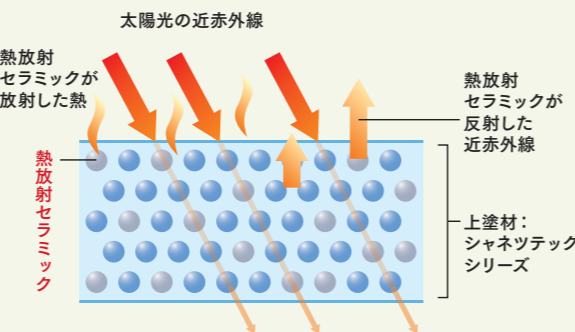
遮熱顔料

太陽の熱エネルギー源となる近赤外線を反射します。



熱放射セラミック

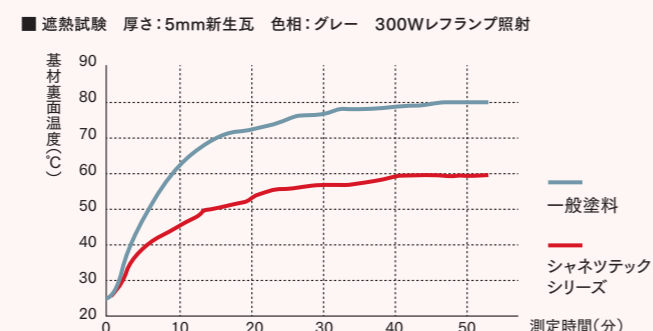
熱放射セラミックが近赤外線を反射し、吸収した熱を逃がすことで屋根蓄熱を防ぎます。



試験結果

※本試験ではシャネツテックSi-JYを使用

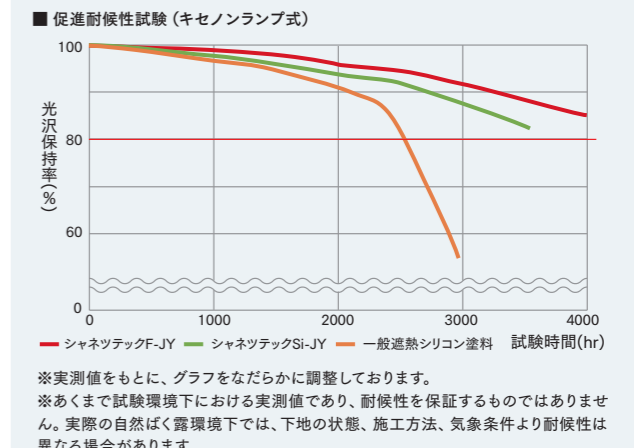
シャネツテックシリーズと一般塗料を塗布した基材に300Wのレフランプを照射し、基材の裏面温度を測定しました。一般塗料の基材は最高80℃に達したのに対し、シャネツテックシリーズでは60℃程度と20℃以上の温度差が生じ、高い遮熱性が実証されました。



高耐候性

高い耐候性で建物を守る。

促進耐候性試験（キセノンランプ式）において、シャネツテックF-JYは15～18年（期待耐用年数）、シャネツテックSi-JYは10～12年（期待耐用年数）が経過しても光沢保持率80%以上を保持することが実証されています。塗膜の劣化要因である紫外線・雨・熱に対して高い耐候性を発揮し、長く美しく建物を守ることが可能です。



美観

全11色を展開。光沢のある鮮やかな美観を実現可能。

全色でJIS K 5675（屋根用高日射反射率塗料）合格※。高い反射率により優れた遮熱効果を発揮します。
※シャネツテックF-JYでは、9111カーボングレー、9116グリーンレイバーを除く9色で合格



※あくまでサンプルの色味です。実際の色味とは異なりますので、必ずアステック屋根用色見本帳やアステック大判色見本帳FILE2をご確認ください。